

令和4年度第1回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会会議録

日 時 令和4年8月25日(木) 午前10時00分
場 所 岡崎市役所 東庁舎6階 601会議室
出席委員 打田委千弘会長・重原惇子副会長・加藤勝己委員・伊藤智代委員・
山本京子委員・原田美紀子委員・中野渡善樹委員・
小松恵利子委員・長坂英樹委員
欠席委員 伊豆原徹也委員
事務局 安藤部長・三浦課長・石川副課長・牛田係長・播本主事
傍聴者 なし

次 第

- 1 開会のことば
- 2 新委員紹介
- 3 部長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の状況について
 - (2) 「LGBTハンドブック」の見直し(SOGIを踏まえた方向性)について
 - (3) LGBTQに関する事業所取組みアンケート調査について
 - (4) 令和4年度事業計画について
- 6 閉会のことば

議 事

- 議題 (1) 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の状況について
- 資料1-1 岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例
- 資料1-2 岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例施行規則
- 資料1-3 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度ご利用の手引き
- 資料1-4 岡崎市パートナーシップ・ファミリーシップ制度に関する広報
- 資料1-5 市政だより6月号

長坂委員 この箸置きは誰が考えたのですか？

事務局 制度を開始するにあたり、届出の記念になる何かプラスアルファがあると良いのではないかと市で考えていたところ、当事者の方と意見交換した際、無理のない範囲で記念になるものがあれば嬉しいとのアイデアを

いただきました。費用面と SDGs の面から知恵を出しあった結果、市の施設である岡崎ガラス工房葵が、廃ガラスを再利用した商品を開発していることから、そこに相談しまして、6色のレインボーカラーの色をちりばめた箸置きを作成するに至りました。

会 長 パートナーシップ・ファミリーシップ制度について条例で定めたのは岡崎市が最初ですか。

事務局 条例でパートナーシップ・ファミリーシップの制定をしたのは愛知県では岡崎市が初めてです。

重原委員 若い方は LGBTQ に関心が高いです。私は岡崎女子大学で講師をしていますが、「岡崎市はこんな制度を作っていて凄いです。」って書いてきてくれる子もいました。是非大学にもリーフレットを置かせていただきたいです。

事務局 ありがとうございます。是非進めさせていただきます。

山本委員 広報も積極的にやっていますが、広報をしていることの広報にもう少し力を入れると良いのかなと思います。商工会議所としてもメルマガやチラシをお配りする機会もありますので御協力できるのかなと思います。

会 長 可能であれば、市の Twitter とか SNS を有効に活用するとよいと思います。

伊藤委員 地域活動の中でも周知することは難しいと感じております。企業向けの周知や中学校出前講座は素晴らしい活動だと思ったのですが、ハンドブックやリーフレットはどこでいただけますか。

事務局 りぶらや多様性社会推進課の窓口にあります。

伊藤委員 LGBTQ やパートナーシップ・ファミリーシップ制度について、地域、社教単位での周知として講習会や出前講座は実施していますか。

事務局 職員が出向いて行う市民向けの出前講座を行っています。昨年度は PTA の方から申し込みがありました。

会 長 市民の方、事業所の方がどのくらい「LGBTQ」や「SOGI」のキーワードについて認知されているかなど、広報活動がどのくらい進捗したか効果が見える化することが大事だと思っています。市民、事業所、年代別など、ある程度の期間、例えば5年ごとのアンケート結果の推移がわかるようにしながら、現状認識から施策に関する一つのプロセスについて、認知度を見ながら具体的なアプローチを検討していただけるとよいと思います。

- 議題（2）LGBT ハンドブックの見直し（SOGI を踏まえた方向性）について
 - 資料 2-1 「LGBT ハンドブック」の見直し（SOGI を踏まえた方向性）について
 - 資料 2-2 現行の「LGBTを知るためのハンドブック」

- 重原委員 SOGI を踏まえて改訂を考えていただいております。大変嬉しく思っております。LGBTQ は性的マイノリティだけを表す言葉です。SOGI は少数派か多数派かに関係のない考え方です。皆が同じ土俵に立って、あなたがどうなのかという全員に向けてのメッセージがとても大事なことだと思うので、世間に浸透している LGBTQ もしくは Q プラスの言葉と、SOGI とがどう繋がっていくか、説明するのは難しいとは思いますが、出来るだけ分かりやすくこの中に入れていただきたいと思います。
- 原田委員 市政だよりの特集は非常にカラフルで分かり易く、LGBTQ、SOGI について私も最近知りました。市政だよりの一般市民の方からの反応をお聞きしたいです。
- 事務局 岡崎市が性的マイノリティに対する姿勢を示すという意味で特集を作ったことに対して、好意的な御意見をいただきました。しかし一方で、受け入れられない、理解しにくいという御意見もいただきました。そちらに関しては、各個人の成育歴や過ごしてこられた環境など、それぞれ持っておられる考えを否定するものではありませんので、御意見として伺いました。性的マイノリティの方が実際いらっしゃることや多様性という考え方を、新たな視点として御理解いただきたいとお伝えしております。
- 加藤委員 教員指導の一環として子どもを必ずさん付けで呼ぶようにしなさいと指導をしていると聞いたときに、そういう時代になったとつくづく感じました。ハンドブックに専門的なことを書いても誰も見ないと思いますので、漫画というか、誰でも親しみやすく分かり易いのがよいのではないかと思います。
- 会長 アルファベットを使った表記はできるだけ日本語に変えていただきたいという要望は出しております。できるだけ日本語に置き換えられるものがあれば、日本語に置き換えることが凄く大事です。そこを意識して作っていただけると大変ありがたいかなと思います。
- 中野渡委員 ジェンダーの平等については、各学校によって取組みの差はありますが進めています。混合名簿や委員会を決めるときに性差は一切関係ない形で代表を決めています。例えば卒業式では、男子がまず卒業証書をもってその後女子がもらう、そういったこともなく混合でやっています。ハンドブック 11 ページの身近にいる LGBT 当事者の声についてですが、学校では子どもたちに様々な情報が入ってきます。その中で、自分は LGBT にあてはまるのかな？と親に相談をすると今の現状ではきっと親御さんはびっくりする方の方が多いと思います。岡崎市が様々な取組みをしてくださっていますので、これがもっと広がっていくと子供たちが自分の性に気が付いたときに安心できるのかなと思います。

○ 議題（３）LGBTQに関する事業所取組みアンケート調査について
資料３ LGBTQに関する事業所取組みアンケート

会 長 市が行う調査ということを前面的に出すことが大切だと思います。単発でやるということは考えずに継続的に調査をやるときに、他の統計調査も加味しながら実施していただければと思います。例えば、事業所の規模、業種の集計などといった項目は、他の調査と整合を取りながら分けさせていただけると比較できると思います。

重原委員 商工会議所さんの御協力で行われると思いますが、事業所はどのくらいありますか。

山本委員 会員事業所は4,100社位ですが、このアンケートの協力方法は、全員が登録しているわけではないメルマガで会員、非会員含めて3,000社ちょっとになります。また採用活動に積極的な事業所が150社程度、会報は4,150社から4,200社位に毎月お送りするので、そこにQRコードと説明を入れるように広報担当の方へ依頼しています。部数はありますが、強制力があるものではないので、どれ位興味を持ってやっていただけるかは未知数でかなり少ないと思います。岡崎市には、額田、六ツ美にも商工会がありますので、そちらにも協力の依頼をさせていただきたいなと思います。

重原委員 回収率を上げるためには、何か秘策はありますか。

会 長 国がやる中小企業に対する統計調査も大体MAXで回収率30%です。個人的には10%いけば良いほうだと思います。継続的にやっていることを示すのも重要ですので、周知を目的の一環として考えればよいと思います。高い目標を立てますと次が続きません。比較的意識のある企業の方がどの程度の施策を行っているのかを見ていただく、サンプルセレクションバイアスぐらいの程度で今回はいいのかと思います。

山本委員 従業員が比較的多い企業を対象にしている内容であると思われるので、回答する企業は絞られてくるかなと思います。会員企業様でない事業所さんも市内には沢山ありますので、そういったところには市役所の方で何らかの施策があるとより広がるのかなと思います。

会 長 法人化しているところだけを対象にすると先ほどの整合性の問題がでてきますが、事業所規模が大きくなると回収率が上がる傾向にあると思います。回収率を上げることを第一に考えるか、それともアンケート調査を啓発活動の一環として考えていくか、目的によって判断していただければよいと思います。

事務局 商工会議所さんの御協力をいただき、LGBTQというテーマでアンケート調査を実施するのは初めてです。条例第8条に事業所の責務という項目

がございます。男女共同参画や性の多様性について事業所に理解をしていただきたいという内容です。社会人になった方達が一日の大半を過ごす場所は、会社が圧倒的であるため、社内の制度や研修で LGBTQ も含め様々な取組みによって男女共同参画や性の多様性を理解する社会にシフトしていくと思っています。また、岡崎市の取組みの一つとして、働きやすい職場の環境づくりについて指導を希望する事業所に社会保険労務士を派遣しています。今回のアンケートをきっかけに社会保険労務士の派遣の部分を含めて PR していきたいと思います。

- 議題（４）令和４年度事業計画について
 - 資料４－１ 令和４年度事業計画について
 - 資料４－２ ダイバーシティ NEWS Vol. 3

小松委員 大人向けの事業が多いので、私自身託児で小さいお子さんを見させていただいておりますが、絵本を幼稚園、小学校に配布していただくと、非常に広く伝わるのではないかと思います。

山本委員 3女性活躍推進業務の（５）テレワークの推進についてですが、事業所とのビジネスマッチングは、具体的にどういうタイミングでどんなことをやるかを教えていただきたいです。

事務局 12月9日に、テレワーカーを募集している事業所さんとテレワーカーとして働きたい女性とのマッチングイベントを開催予定です。

山本委員 情報をいただけるともしかして事業所の掘り起こしができるかと思えます。その他にも事業所が絡むような業務が今後ありましたら、御協力できることもあると思います。

長坂委員 アドバイザー派遣事業の社会保険労務士は、どのような人が行っていますか。

事務局 主に岡崎市内の社会保険労務士さんをお願いしております。様々な社労士さんのお話をいただくと良いと思っています。

小松委員 コロナ禍の働き方として、事業所経営者も随分柔軟に考えるようになったという認識があります。しかしテレワークの幅が広がっていく中で、様々な決まりや人々の思考がまだ追いついていないというのが現状かなと思います。その辺りも広報で少しずつ意識が変わっていくように仕向けていただければと思います。